

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	015505	事務事業名	常備消防一般事務			
担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者(課長)	山本 亜希広	評価責任者(部長)	村野 行徳	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	400201	分野	4安心安全	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	2消防・救急体制の充実強化			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)消防力の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	○市民	事業の目的(意図)	消防本部運営に係る一般事務を適切に執行することで、消防業務の円滑な遂行を図り、市民の安心安全を確保する。
事業の内容(手段)	○消防職員の健康管理及び安全衛生の向上を図るため産業医を選任し、定期健康診断、特定業務(深夜業務)従事者健康診断及び各種予防接種を実施する。 ○全国消防長会、全国消防長会中国支部、山口県消防長会に参画し、事業の研究及び検討を行う。 ○消防職員採用試験及び昇任試験を実施し、優れた人材の確保と職員の資質の向上を図る。 ○消防業務(一般事務)に必要な物品の調達を予算の範囲内で適正に行う。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					職員数	貸与品を適切に貸与できた職員数	人
				実績値	199.0	202.0	
				達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
			直接事業費	千円	15,002	14,486	15,224
(予算額)	うち一財	千円	15,001	14,485	15,223	15,093	15,223
(決算額)	直接事業費	千円	12,204	14,243		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	12,204	14,243			
	正職員人件費	千円	8,060	8,105			
	人工数	人	1.10	1.10			
	支出コスト	千円	決) 20,264	決) 22,348			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	○職員の大量退職により、年齢比率が若年化している。 ○複雑多様化する災害に対応するため、貸与品目が増加し、また、高規格化している。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ○消防業務の複雑多様化に伴い、優れた人材を確保する必要がある。 ○厳しい財政状況の中、事業の効率化を図り、適正な予算執行を行う必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	○消防業務を円滑に遂行するためには、消防本部の運営事務を適正に管理していく必要がある。厳しい財政状況の中、更なる効率化を図り、適正な予算執行を継続していく。	評価責任者コメント	○消防本部の運営事務及び職員管理を適正に行い、消防職員採用試験及び昇任試験等により、優れた人材の確保と職員の資質の向上を図るとともに、貸与品を適正に貸与し、組織の規律と職員の安全確保に努めること。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	消防本部運営管理業務	消防本部の運営に必要な経費等の管理を適正に行い、円滑な業務の遂行を図る。	貸与品の更新、仮眠室寝具借上、事務用品・非常食の管理など、消防業務に必要な経費の管理を適正に行った	12,233	否	0.25	0.00
②	消防長会業務	消防長会を通じて情報交換を行うとともに、消防制度や消防技術の研究を行う。	全国消防長会役員会:2回、全国消防長会中国支部役員会:2回、全国消防長会中国支部人事総務担当者課長会議:1回に出席し、各事業における情報共有を図った。	813	否	0.25	0.00
③	消防職員管理業務	消防職員人事管理や安全衛生、健康管理を適正に行い、円滑な業務遂行を図る。	産業医による特定業務従事者健康診断、感染症予防接種(B型肝炎・破傷風)	1,109	否	0.40	0.00
④	試験関係業務	優れた人材確保及び消防吏員の資質の向上を図る。	消防職員昇任試験(33人受験)、消防職員採用試験(9人採用)	88	否	0.20	0.00

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	015508	事務事業名	非常備消防費一般事務			
担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者(課長)	山本 亜希広	評価責任者(部長)	村野 行徳	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	400201	分野	4安心安全	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	2消防・救急体制の充実強化			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)消防力の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	○市民	事業の目的(意図)	○消防団の運営に係る一般事務を適正に執行することで、消防団業務の円滑な遂行を図り、地域防災体制の強化充実を図る。
事業の内容(手段)	○消防団の人事、庶務及び表彰に係る事務 ○消防団員の報酬及び費用弁償に係る事務 ○消防団の充実強化に関すること。 ○出初式に関すること。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	消防団員数	新しく入団した消防団員数	人	目標値	46.0	46.0	46.0
			実績値	39.0	57.0		
			達成度(%)	84.8%	123.9%		

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	136,320	137,800	136,970	122,044	136,970
(予算額) うち一財	千円	98,310	98,310	94,785	92,030	94,785	
直接事業費	千円	123,190	111,148		対30年度増減理由	対31年度増減理由	
(決算額) うち一財	千円	92,702	89,566		新規入団者減少予測に基づく報償費及び旅費の減少		
正職員人件費	千円	12,016	12,084				
人工数	人	1.64	1.64				
支出コスト	千円	決) 135,206	決) 123,232				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	○消防団のサラリーマン化が進んでいる。 ○平成25年に施行された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」により、消防団の充実強化の推進が求められている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ○地域防災体制の強化充実を図るため、消防団員の加入促進が喫緊の課題であるが、少子高齢化や就業構造の変化により、一部の地域においては消防団員の確保に苦慮している。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	○地域防災の中核となる消防団の充実強化を推進するため、「新入団員の確保」、「消防団の装備の充実」、「消防団員の処遇の改善」に向け、有効的な事業展開を継続する。		評価責任者コメント	○地域防災の中核となる消防団を運営する上で、重要な事業である。「学生消防団制度の取組による入団促進」など、あらゆる機会を活用し、消防団と連携して効率的な入団促進を推進すること。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	消防団の人事に関する業務	消防団員の入退団、表彰具申等を適正に管理し、円滑な消防団活動を推進する。	新入団員:57名を確保及び、表彰事務により、消防団員36名が各種表彰を受章	137	0.20	0.00	
				否			
②	消防団の報酬等給付業務	消防団員の年報酬及び費用弁償の給付を適正に行い円滑な消防団活動を推進する。	消防団員1012名の年報酬と費用弁償を適正に給付した。	98,647	0.30	0.00	
				否			
③	出初式関連業務	消防団員の士気を高めると伴に本市消防組織の全陣容を広く市民に公開し消防の認識と信頼を深め、防災思想を喚起する。	式典準備、訓練リハーサル、出初式の運営(年1回)	1,011	0.50	0.00	
				否			
④	消防団の充実強化対策	消防団の充実強化を図るため「消防団への加入促進」、「処遇改善」、「装備の改善」、「教育訓練の改善」を推進する。	年次計画に基づき、消防団員の安全装備品(防塵ゴーグル、防塵マスク、雨衣、新基準活動服)を配備した。	7,315	0.41	0.00	
				否			
⑤	消防団運営業務	関係法令や会議など団運営に係る事務を適正に管理し、円滑な消防団運営を図る。	・消防団幹部会議2回 ・警防、予防、総務部会各1回 ・副分団長会議1回	4,038	0.23	0.00	
				否			

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	631008	事務事業名	光地区消防組合負担金			
担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者(課長)	山本 亜希広	評価責任者(部長)	村野 行徳	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	400201	分野	4安心安全	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	2消防・救急体制の充実強化			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)消防力の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	○市民	事業の目的(意図)	○熊毛地区の安心安全を確保する。
事業の内容(手段)	○光市、田布施町とともに光地区消防組合を構成し、共同して熊毛地区における常備消防体制を確立する。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度	
					目標値			
					実績値			
					達成度(%)			

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	214,693	229,648	234,166	245,347	252,672
	(予算額) うち一財	千円	214,693	229,648	234,116	245,347	252,672
	直接事業費	千円	214,586	229,648		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	214,586	229,648		車両等の更新整備に伴う公債費及び祝日増加に伴う職員手当の増加	車両等の更新整備や退職職員に係る負担金の増加
	正職員人件費	千円	147	295			
	人工数	人	0.02	0.04			
	支出コスト	千円	決) 214,733	決) 229,943			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	○災害の複雑多様化や高齢化による救急件数の増加など、消防行政に対する住民の期待が高まっている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 ○光地区消防組合においても、消防施設や消防資機材等の更新時期を迎えており、負担金の増額が見込まれる。 ○熊毛地区を管轄する北消防署の老朽化
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	○光地区消防組合への負担金であり、指標の設定はしない。
	事務事業の方向性	○光地区消防組合と更なる連携強化を図り、負担金の平準化など効果的な事業を検討し、熊毛地区の消防業務を円滑に運営する。		評価責任者コメント	○熊毛地区の消防体制を確保するうえで重要な事業である。今後とも、組合構成市町と協同し効果的に事業推進すること。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	消防組合との調整	熊毛地区の消防業務を円滑に運営することで、熊毛地区の安心安全を確保する。	熊毛地区の火災、救急等に出場し、災害等の被害の軽減(平成29年1月～12月:火災6件、救助6件、救急777件)。	229,648	0.04	0.00	
				否			
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	631011	事務事業名	消防職員研修養成事業			
担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者(課長)	山本 亜希広	評価責任者(部長)	村野 行徳	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	400201	分野	4安心安全	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	2消防・救急体制の充実強化			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)消防力の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	○市民	事業の目的(意図)	○消防職員が幅広い知識及び技術を習得することで、消防活動の質の向上を図り、市民の安心安全を確保する。
事業の内容(手段)	○県消防学校及び消防大学校等に入校し、各種教育課程を修了する。 ○各種資格取得講習を受講し、幅広い技能資格を習得する。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					目標値	16.0	18.0
消防職員数		県消防学校及び消防大学校に入校した職員数	人	実績値	17.0	19.0	
				達成度(%)	106.3%	105.6%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	6,890	6,339	5,751	5,142
うち一財		千円	6,890	6,339	5,751	5,142	5,751
(決算額)	直接事業費	千円	6,811	6,293		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	6,523	6,293			
	正職員人件費	千円	1,319	1,768			
	人工数	人	0.18	0.24			
	支出コスト	千円	決) 8,130	決) 8,061			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	○職員の大量退職に伴い、学校教育修了者や各種技能資格取得職員が減少している。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ○若手職員への学校教育や資格取得を進めているが、勤務体制や確保人員の関係から、多くの職員を研修派遣することが難しい。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	○勤務体制や確保人員の関係から、多くの職員を研修派遣することが難しいため、今後も教育研修計画に基づき、効果的な職員教育を継続するとともに、研修修了者による部内教育を推進する。		評価責任者コメント	○時代の変化や多様化する災害に対応するためには、高度な消防知識及び技術の習得は必要不可欠である。今後も、計画的に学校教育、各種研修に職員を派遣し、効果的に職員教育を行うこと。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	消防職員教育事業	消防学校教育修了者17名、各種技能資格取得者18名	消防大学校1名、県消防学校18名修了、各種技能資格23名取得	6,293 否	0.24	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	631014	事務事業名	消防庁舎管理事業			
担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者(課長)	山本 亜希広	評価責任者(部長)	村野 行徳	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	400201	分野	4安心安全	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	2消防・救急体制の充実強化			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)消防力の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	○市民	事業の目的(意図)	○消防庁舎を適正に維持管理することで、消防力の充実に回り、市民の安心安全を確保する。
事業の内容(手段)	○消防庁舎の維持管理に係る設備保守委託、保全修理及び光熱水費等を適正に管理する。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度	
					目標値	6.0	6.0	6.0
					実績値	6.0	6.0	
					達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	28,388	29,313	27,802	30,101	27,802
	(予算額) うち一財	千円	26,305	27,389	26,163	28,918	26,163
	直接事業費	千円	25,462	29,512		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	24,060	28,227			
	正職員人件費	千円	2,711	3,168			
	人工数	人	0.37	0.43			
支出コスト	千円	決) 28,173	決) 32,680				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	○老朽化の進んだ庁舎については保全箇所が増えている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ○職員に対し冷暖房の適正な管理や節水等を周知徹底することにより、庁舎維持に係るランニングコストの削減を図っていく必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	○ランニングコストの更なる削減や効率的な保全修理を行い、適正な事業運営に努めていく。		評価責任者コメント	○消防庁舎を維持管理するために必要不可欠な事業である。職員の節減意識と予防保全の醸成を図り、より一層のランニングコスト低減と施設愛護に努めること。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	庁舎関係維持管理業務	消防庁舎を適正に管理することで、円滑な業務遂行を図る。	庁舎維持に係る光熱水費、ホースハンガー補修など	27,669	0.28	0.00	
				否			
②	庁舎設備保守管理業務	庁舎設備を適正に保守管理することで、円滑な業務を遂行を図る。	電気工作物保守管理、消防設備保守点検、冷暖房施設保守管理	1,843	0.15	0.00	
				否			
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	631017	事務事業名	消防機械器具管理事業			
担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者(課長)	山本 亜希広	評価責任者(部長)	村野 行徳	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	400201	分野	4安心安全	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	2消防・救急体制の充実強化			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)消防力の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	○市民	事業の目的(意図)	○消防機械器具を適正に維持管理することで、消防活動の円滑な遂行を図り、市民の安心安全を確保する。
事業の内容(手段)	○消防車両の法定点検及び消防機械器具の整備、維持保全を行う。 ○老朽化した消防資機材を計画的に更新整備する。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					消防車両台数	計画通りに車検を受けた消防車両台数	台
				実績値	26.0	35.0	
				達成度(%)	100.0%	94.6%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	19,066	20,992	20,409	20,438
うち一財		千円	19,062	20,988	20,405	20,434	20,405
(決算額)	直接事業費	千円	18,602	20,913		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	18,449	20,883			
	正職員人件費	千円	3,664	3,463			
	人工数	人	0.50	0.47			
	支出コスト	千円	決) 22,266	決) 24,376			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	○国の示す安全管理基準に基づく点検整備が求められている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ○保有する消防機械器具の経年劣化が進み、修繕数が増えている。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	○車検時期を迎えた車両を更新した。
	事務事業の方向性	○消防力を維持するために必要な事業であり、法定点検及び定期点検等を確実に実施するため、効率よく継続的に事業を推進する。		評価責任者コメント	○消防機械器具の維持管理を適正に行うとともに、職員への取扱い及び各種整備方法の習熟を含め、運用知識及び技術について指導を行うこと。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	消防機械器具の点検整備	消防機械器具の点検整備及び修繕を適正に適正に管理する。	消防車両35台の車検、法定点検130回の法定点検、特殊車両整備	19,327	0.25	0.00	
				否			
②	消防機械器具の維持管理及び修繕	経年劣化した資機材を効果的に更新する。	空気呼吸器用ボンベ4本、ハーネス1体、防火衣6式の更新	1,586	0.22	0.00	
				否			
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	641008	事務事業名	消防機械器具強化充実事業			
担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者(課長)	山本 亜希広	評価責任者(部長)	村野 行徳	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	400201	分野	4安心安全	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	2消防・救急体制の充実強化			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)消防力の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	○市民	事業の目的(意図)	○消防車両及び消防機械器具等を更新整備することで、消防力の強化充実に図り、市民の安心安全を確保する。
事業の内容(手段)	○複雑多様化及び大規模化する災害に対応するため、老朽化した消防車両及び消防機械器具等を更新整備することにより、消防力の強化充実に図る。 (1)大型化学高所放水車 1台(中央署防署) (2)査察広報車 1台(西消防署) (3)消防用ホース 89本		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	更新車両数	計画通りに更新した消防車両台数	台	目標値	2.0	2.0	1.0
			実績値	2.0	2.0		
			達成度(%)	100.0%	100.0%		

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	16,503	134,961	44,389	62,808	96,317
(予算額) うち一財	千円	1,503	9,350	32,389	9,578	14,017	
直接事業費	千円	16,206	133,189		対30年度増減理由	対31年度増減理由	
(決算額) うち一財	千円	1,406	11,264		更新する車両の種類や資機材が、変動することに伴う増加	更新する車両の種類が、変動することに伴う増加	
正職員人件費	千円	2,564	2,431				
人工数	人	0.35	0.33				
支出コスト	千円	決) 18,770	決) 135,620				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	○近年、都市型災害や自然災害など複雑多様化する中で、専門的かつ高度な消防機械器具等の整備が必要となっている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ○財政状況の厳しい中、計画的及び効果的な更新整備を検討する必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	○複雑多様化及び、大規模化する災害に的確に対応するため、社会の動向等を踏まえて仕様を十分検討し、財源等を有効に活用しつつ計画的な更新整備を進めていく。		評価責任者コメント	○消防機械器具強化充実事業は、複雑多様化する災害に適切に対応するため、厳しい財政状況の中、消防機械器具に関する研究を行い、計画的かつ効果的に機械器具の更新整備を図ること。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	消防車両及び資機材の更新整備	消防車両、資機材を計画的に更新整備することで消防力の強化を図る。	大型化学高所放水車:1台、査察広報車:1台、消防用ホース:89本を更新整備	133,189 否	0.33	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	641014	事務事業名	消防団員研修養成事業			
担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者(課長)	山本 亜希広	評価責任者(部長)	村野 行徳	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	400201	分野	4安心安全	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	2消防・救急体制の充実強化			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)消防力の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	○市民	事業の目的(意図)	○消防団員が幅広い知識及び技術を習得することで、地域防災体制の強化充実を図り、市民の安心安全を確保する。
事業の内容(手段)	○県消防学校等に入校し、各種教育課程を修了する。 ○消防本部が実施する新入団員、幹部研修等を受講し、幅広い知識及び技術を習得する。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					消防団員数	消防学校等の教育を受講した消防団員数	人
				実績値	91.0	66.0	
				達成度(%)	123.0%	89.2%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	431	318	399	378
うち一財		千円	431	318	399	378	399
(決算額)	直接事業費	千円	287	203		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	287	203			
	正職員人件費	千円	1,832	1,842			
	人工数	人	0.25	0.25			
	支出コスト	千円	決) 2,119	決) 2,045			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	○東日本大震災後、消防団員に対する地域の期待がより一層高まっている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ○消防団員サラリーマン化が進み、消防学校への派遣が難しい。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	平成29年度は、機関運用に特化した専門教育を、消防本部で実施した。これは受講者を「機関技術員」に限定する必要があったことから、受講者が減少した。
	事務事業の方向性	○複雑多様化する災害等に対応するため、地域防災の要である消防団員の消防技術及び知識の習得は重要となっている。消防団員の教育機会の確保をこれまで以上に推進する。		評価責任者コメント	○消防団の充実強化は、人材育成が重要であり教育機会の確保は不可欠である。団員がサラリーマン化する中で、受講しやすい環境整備を進め、効果的に事業推進すること。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	消防団の教育	各種教育訓練を受講し、消防団員の質の向上を図る。	県消防学校教育25名派遣、新入団員教育23名、機関技術教育18名	203 否	0.25	0.00	
②							
③							
④							
⑤							



平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	641017	事務事業名	消防団機械器具管理事業			
担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者(課長)	山本 亜希広	評価責任者(部長)	村野 行徳	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	400201	分野	4安心安全	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	2消防・救急体制の充実強化			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)消防力の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	○市民	事業の目的(意図)	○消防団機械器具を適正に維持管理することで、消防団活動の円滑な遂行を図り、市民の安心安全を確保する。
事業の内容(手段)	○市民消防団車両の法定点検や消防団機械器具の維持管理を行う。 ○老朽化した消防団資機材を計画的に更新整備する。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					消防団車両台数	計画通りに車検を受けた消防団車両台数	台
				実績値	32.0	42.0	
				達成度(%)	100.0%	91.3%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	9,708	11,834	11,791	12,760
うち一財		千円	9,708	11,834	11,791	12,760	11,791
(決算額)	直接事業費	千円	9,490	9,812		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	9,490	9,812		法定点検台数の増加に伴う増額	
	正職員人件費	千円	2,931	2,947			
	人工数	人	0.40	0.40			
	支出コスト	千円	決) 12,421	決) 12,759			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	○平成25年に施行された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に伴い、消防団に配備する資機材の充実強化が求められている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ○消防団員に対して消防団機械器具の取扱い及び整備要領について、計画的に指導する必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	○車検時期を迎えた車両を更新した。
	事務事業の方向性	○消防団との更なる連携体制を構築し、消防団車両の点検整備を計画的に行い、事業の円滑な運営に努める。 ○団員への消防団機械器具の取扱い及び整備要領及び法体系等について、機会を捉え指導・助言を行う。		評価責任者コメント	○消防団機械器具の適正な維持管理を行うとともに、消防団員に対し適切な運用についての指導・助言を行い故障の原因とならないよう、また、初期段階での故障対応が可能となるよう指導を行うこと。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	消防団機械器具の点検整備	消防団車両、資機材の点検整備を適正に管理することで、消防力の維持を図る。	消防団車両42台の車検、105回の法定点検など	9,348 否	0.30	0.00	
②	消防団機械器具の維持管理及び修繕	消防団車両、資機材を適正に維持管理することで、消防力の確保を図る。	自動体外式除細動器(須金機庫、馬島機庫)の更新	464 否	0.10	0.00	
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	641020	事務事業名	消防団等公務災害補償等共済基金事業			
担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者(課長)	山本 亜希広	評価責任者(部長)	村野 行徳	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	400201	分野	4安心安全	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	2消防・救急体制の充実強化			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)消防力の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	○市民	事業の目的(意図)	○消防団員の公務災害補償及び退職報償金に係る事務を適正に執行することで、消防団員の福利厚生を向上させ、地域防災体制の強化充実を図る。
事業の内容(手段)	○消防団員等公務災害補償等共済基金に加入し、公務災害が発生した場合の損害補償に係る手続き、及び消防団員が退職した際の退職報償金に係る手続きを行う。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度	
					目標値			
					実績値			
					達成度(%)			

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	25,506	25,490	25,490	25,490	25,490
(予算額)	うち一財	千円	25,506	25,490	25,490	25,490	25,490
直接事業費	千円	25,489	25,490		対30年度増減理由	対31年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	25,489	25,490			
正職員人件費	千円	1,465	1,474				
人工数	人	0.20	0.20				
支出コスト	千円	決) 26,954	決) 26,964				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	○近年、発生する災害が複雑多様化、大規模化し、全国的に消防団員の公務災害発生件数が増加している。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 ○消防団員の公務災害を防止するため、日頃から危険予知訓練や安全管理講習会など開催していく必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	○消防団員等の公務災害補償等共済基金への負担金であり、指標の設定はしない。
	事務事業の方向性	○消防団員の公務災害補償及び退職報償金の支払いは、消防組織法に基づいた重要な事業である。今後も、適正な事務手続きを遂行し、活力のある消防団活動を担保する。		評価責任者コメント	○本事業は、消防組織法に基づく重要な事業である。公務災害を防止するための教育指導を含め、引き続き適切に対応すること。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	退職報償金支給業務	退職報償金の支払事務を適正に遂行する。	退職団員52名の退職報償金支払手続きを実施した。	25,490 否	0.20	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	641023	事務事業名	消防団機械器具強化充実事業			
担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者(課長)	山本 亜希広	評価責任者(部長)	村野 行徳	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	400201	分野	4安心安全	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	2消防・救急体制の充実強化			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)消防力の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	○市民	事業の目的(意図)	○消防団車両や消防団機械器具等を更新整備することで、地域防災の体制の強化充実を図り、市民の安心安全を確保する。
事業の内容(手段)	○老朽化した消防団車両及び消防団機械器具を更新整備 (1)消防ポンプ自動車 1台 (須金) (2)小型動力ポンプ付積載車:全自動 1台(御姫町) (3)小型動力ポンプ付積載車:軽四型 1台(中津) (4)消防用ホース 66本		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					更新車両数	計画通り更新整備した消防団車両台数	台
				実績値	2.0	3.0	
				達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目		単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	31,782	41,727	26,473	33,490	24,394
	うち一財	千円	2,682	5,327	623	1,180	2,694	
(決算額)	直接事業費	千円	31,405	40,500		対30年度増減理由	対31年度増減理由	
	うち一財	千円	1,737	5,000		更新車両の種類変更に伴う増額	更新車両の種類により減額	
	正職員人件費	千円	2,564	2,579				
	人工数	人	0.35	0.35				
	支出コスト	千円	決) 33,969	決) 43,079				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	○平成25年に施行された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に伴って、消防団装備等の充実と高規格化が求められている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ○財政状況の厳しい中、より計画的及び効果的な更新整備を検討していく必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	○地域の特殊性や配備状況、社会の動向等を踏まえて仕様を十分検討し、計画的な更新整備を進めていく。		評価責任者コメント	○消防団の機械器具等の更新整備は、地域防災体制の強化充実を図るために必要不可欠な事業である。財政状況の厳しい中、消防機械器具に関する研究を行い、計画的かつ効果的に消防団機械器具の更新整備を図ること。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	消防団車両及び資機材の更新整備	消防団車両及び資機材を計画的に更新整備することで、消防力の強化を図る。	消防ポンプ車 1台、小型動力付積載車:全自動型 1台、小型動力ポンプ付:軽四型 1台、消防用ホース 66本	40,500 否	0.35	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	641029	事務事業名	消防施設管理事業			
担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者(課長)	山本 亜希広	評価責任者(部長)	村野 行徳	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	400201	分野	4安心安全	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	2消防・救急体制の充実強化			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)消防力の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	○市民	事業の目的(意図)	○消防団機庫を適正に維持管理することで、地域防災体制の充実を図り、市民の安心安全を確保する。
事業の内容(手段)	○消防団機庫の維持管理に係る保全修理及び光熱水費等を適正に管理する。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					消防団機庫数	適正に維持管理した消防団機庫数	箇所
				実績値	74.0	71.0	
				達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	1,106	1,140	1,490	1,517
うち一財		千円	1,106	1,140	1,490	1,517	1,490
(決算額)	直接事業費	千円	1,093	1,309		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	1,093	1,309			
	正職員人件費	千円	1,832	1,768			
	人工数	人	0.25	0.24			
	支出コスト	千円	決) 2,925	決) 3,077			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	○経年劣化による保全箇所の増加や機庫機能の改善が求められている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ○経年劣化により、修繕が必要な消防団機庫が増えてきている。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	○効率的な維持管理を検討し、適正な事業の運営に努める。		評価責任者コメント	○消防団機庫を維持管理するうえで重要な事業である。消防団員と共働し、今後とも適切な維持管理に努めること。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	消防施設の維持管理及び修繕	消防団機庫を適正に管理することで、円滑な消防団活動を推進する。	大向機庫外壁塗装修繕、柳ヶ浦機庫シャッター修理、本浦機庫シャッター修理	1,309 否	0.24	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	641030	事務事業名	消防施設整備事業			
担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者(課長)	山本 亜希広	評価責任者(部長)	村野 行徳	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	400201	分野	4安心安全	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	2消防・救急体制の充実強化			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)消防力の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	○市民	事業の目的(意図)	○消防施設を更新整備することで、消防体制の強化充実を図り、市民の安心安全を確保する。
事業の内容(手段)	○消防団機庫の改修、及び複数の消防団機庫を集約し拠点施設として更新整備し消防体制の強化充実を図る。 (1) 消防本部庁舎四階防水改修工事 (2) 今市機庫解体工事 (3) 下清尾機庫解体工事 (4) 西部機庫整備に伴う第一保育園解体工事		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					消防施設数	計画通り整備、改修工事を実施した消防施設数	箇所
				実績値	3.0	5.0	
				達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	62,037	30,615	50,593	19,922
うち一財		千円	1,137	6,315	493	4,422	4,546
(決算額)	直接事業費	千円	57,541	22,779		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	3,140	3,579		事業内容に伴う減額	
	正職員人件費	千円	4,763	4,421			
	人工数	人	0.65	0.60			
	支出コスト	千円	決) 62,304	決) 27,200			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	○東日本大震災等を踏まえて耐震性を含めた消防庁舎及び消防団機庫の災害時拠点施設としての機能強化が求められている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ○老朽化した消防団機庫については、集約化も踏まえた更新整備の検討が必要である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	○消防施設の更新整備については、関係部局と調整を図りながら計画を策定していく。		評価責任者コメント	○消防施設の更新整備は、「まちづくり総合計画」や「公共施設再配置計画」等に掲げ、施設分類別計画を踏まえ集約化も含めた効果的かつ効率的な整備を進めること。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	消防施設の整備及び改修	消防体制の強化充実を図るため消防団施設を改修及び整備する。	消防本部四階防水改修工事、今市機庫解体工事、下清尾機庫解体工事、第一保育園解体工事	22,779 否	0.60	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	641042	事務事業名	西消防署整備事業			
担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者(課長)	山本 亜希広	評価責任者(部長)	村野 行徳	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	400201	分野	4安心安全	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	2消防・救急体制の充実強化			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)消防力の充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	○市民	事業の目的(意図)	○老朽化した西消防署を更新整備することで、消防体制の強化充実を図り、市民の安心安全を確保する。
事業の内容(手段)	○老朽化した西消防署の建替えに必要な、関係機関との協議や各種手続き等を実施する。 (1)西消防署基本実施設計業務委託 (2)西消防署地質調査業務委託 (3)新南陽総合支所解体設計業務委託		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					目標値	3.0	4.0
西消防署整備関係事務		平成32年度中の運用開始を目前に、一連の事務手続きを適切に実施する。	件	実績値	4.0		
				達成度(%)	133.3%		

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	—	31,200	193,395	315,354
うち一財		千円	—	20,800	2,295	3,254	105,295
(決算額)	直接事業費	千円	—	19,308		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	—	4,608		事業工程に伴う増額	事業工程に伴う減額
	正職員人件費	千円	—	1,105			
	人工数	人	—	0.15			
	支出コスト	千円	—	決) 20,413			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	○東日本大震災等を教訓として、消防庁舎は耐震性を有する消防拠点施設としての機能強化が求められている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ○複雑多様化する災害に適切に対応するため、消火・救急・救助等に関する高度な訓練施設が必要であることから、関係機関と十分協議し、庁舎と併せて適切な訓練施設を整備したい。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	○平成32年度中の運用開始を目前に、関係部局及び関係機関と十分な協議・調整を図りながら実施していく。 ○本市西部地区の消防拠点となるよう、施設内容を十分検討するとともに、ランニングコストの低減化を含めた、経済的な施設整備を推進する。		評価責任者コメント	○消防本部庁舎建設以来の大規模プロジェクトであり、本市西部地区の消防拠点とすべく、綿密な計画を立案し、適切な事業推進に努めること。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	西消防署の整備に関する業務	平成32年度中の運用開始を目前に、関係部局等と円滑な業務を推進する。	西消防署基本実施設計業務委託に関する各種協議、西消防署地質調査業務委託に関する必要事務手続き	19,308 否	0.15	0.00	
②							
③							
④							
⑤							